

2. 保育所待機児童数の状況

	20年4月1日(A)	19年4月1日(B)	差 引 (A-B)
待機児童数	19,550人	17,926人	1,624人

[表3] 年齢区分別の待機児童数

	20年利用児童数(%)	20年待機児童数(%)
低年齢児(0~2歳)	676,590人 (33.5%)	14,864人 (76.0%)
うち0歳児	88,189 (4.4%)	2,404 (12.3%)
うち1・2歳児	588,401 (29.1%)	12,460 (63.7%)
3歳以上児	1,345,583 (66.5%)	4,686 (24.0%)
全年齢児計	2,022,173 (100.0%)	19,550 (100.0%)

○ 年齢区分別待機児童数

年齢区分では、特に1・2歳児の待機児童数(12,460人、63.7%)が多い。低年齢児の待機児童数は全体の76.0%を占める。

[表4] 待機児童数の多い市区町村数

	市区町村
待機児童数100人以上	52 (45)
待機児童数50人以上100人未満	32 (29)
待機児童数1人以上50人未満	286 (294)
計	370 (368)

()は19年4月1日の数値

○ 待機児童のいる市区町村数

待機児童がいる市区町村数は370(全市区町村の20.4%)で、前年より2の増。保育計画を策定しなければならない待機児童が50人以上の市区町村は84。500人以上の待機児童がいる市は、4市(仙台市、横浜市、大阪市及び川崎市)で、前年の2市(大阪市及び横浜市)と比べ2市の増。

[表5] 都市部とそれ以外の地域の待機児童数

	利用児童数(%)	待機児童数(%)
7都府県・指定都市・中核市	1,023,559人(50.6%)	15,187人(77.7%)
その他の道県	998,614 (49.4%)	4,363 (22.3%)
全 国 計	2,022,173 (100.0%)	19,550 (100.0%)

○ 都市部の待機児童の状況

都市部の待機児童として、首都圏(埼玉・千葉・東京・神奈川)、近畿圏(京都・大阪・兵庫)の7都府県(政令指定都市・中核市含む)及びその他の政令指定都市・中核市の合計を見ると1万5,187人となり、全待機児童の77.7%を占める。

(データ出典)

保育所施設数、保育所定員及び保育所利用児童数

- ・・・18年以前—社会福祉行政業務報告(厚生労働省統計情報部)
- ・・・19年以降—福祉行政報告例(概数)(厚生労働省統計情報部)

待機児童数・・・保育所入所待機児童数調査(厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課調べ)

就学前児童数・・・平成18・19年人口推計年報(総務省統計局(各年10月1日現在))